

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	24015	し尿処理施設長寿命化事業	室名	廃棄物対策室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	款	04:衛生費
	施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理	項	02:清掃費
戦略プロジェクト	-	目	03:し尿処理費	
事業予定期間	H 25 ~ H 28 年度	主な根拠法令要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

② 目的・概要	対象	市民及び事業者
	目的	<p>亀山市衛生公苑は、稼働後まもなく28年が経過し、老朽化が進んでいる。また、生活排水処理設備の整備に伴い、浄化槽汚泥の発生量が増加し、加えて公共下水道の整備により生し尿が減少し、生し尿と浄化槽汚泥の割合に逆転現象が生じている。このことから、浄化槽汚泥に対応した処理機能の改善を図るとともに、老朽化した主要な設備・機器を更新し、引続き安定した処理を継続するため、施設を延命化することを目的に本事業を実施するものである。</p>
概要	<p>本事業は国の循環型社会形成推進交付金を活用し、平成27・28年度の2ヶ年継続事業として基幹的設備改良工事を実施するものである。併せて交付金事業の要件である施設のCO2排出量を3%以上削減するものである。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては、合併特例債を活用する。</p>	

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹的設備改良工事 (機械設備、電気)</li> <li>・施工監理業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹的設備改良工事 (土木・建築、機械設備、配管、電気、計装、仮設)</li> <li>・施工監理業務委託</li> </ul>			
		事業費	295,900千円	457,000千円		
	計画額	国庫支出金	82,000千円	95,000千円		
		県支出金				
		地方債	203,100千円	343,900千円		
		その他				
		一般財源	10,800千円	18,100千円		
	予算額	事業費	727,804千円	25,096千円		
		国庫支出金	170,656千円	6,344千円		
		県支出金				
地方債		528,700千円	18,300千円			
その他						
一般財源	28,448千円	452千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		752,900千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円	総事業費 (①+②)	752,900千円

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	衛生公苑し尿処理施設設備改良 進捗率		
	補足	実施済み事業費/総事業費	計画値 40	100
②	名称		単位 %	%
	補足		計画値	
③	名称		単位	
	補足		計画値	
④	名称		単位	
	補足		計画値	

# 事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	24015	し尿処理施設長寿命化事業	室名	廃棄物対策室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	01:一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務 款	04:衛生費
施体系	施策の方向	05:廃棄物処理施設の適正管理	科 項	02:清掃費
	戦略プロジェクト	-	目 目	03:し尿処理費

② 目的・概要	対象	市民及び事業者
	目的	亀山市衛生公苑は、稼働後まもなく28年が経過し、老朽化が進んでいる。また、生活排水処理設備の整備に伴い、浄化槽汚泥の発生量が増加し、加えて公共下水道の整備により生し尿が減少し、生し尿と浄化槽汚泥の割合に逆転現象が生じている。このことから、浄化槽汚泥に対応した処理機能の改善を図るとともに、老朽化した主要な設備・機器を更新し、引続き安定した処理を継続するため、施設を延命化することを目的に本事業を実施するものである。
概要	本事業は国の循環型社会形成推進交付金を活用し、平成27・28年度の2ヶ年継続事業として基幹的設備改良工事を実施するものである。併せて交付金事業の要件である施設のCO2排出量を3%以上削減するものである。 なお、事業の実施にあたっては、合併特例債を活用する。	

		27年度	28年度
①	名称	衛生公苑し尿処理施設設備改良 進捗率	計画値 40
	補足	実施済み事業費/総事業費	実績値 40
			単位 %
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績					
・基幹的設備改良工事 (土木・建築、機械設備、配管、電気、計装、仮設) ・施工監理業務委託				・基幹的設備改良工事 (土木・建築、機械設備、配管、電気、計装、仮設) ・施工監理業務委託					
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	879	平均給与額×③	
		事業費	457,000	464,746	439,648	人件費	一般職員人件費 ②		879
		国庫支出金	95,000	6,344	0	所要人員 ③	0.12		
		県支出金		0	0	臨時職員人件費 ④	0		
		地方債	343,900	435,500	417,600	受益者負担額 ⑤			
		その他		0		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		一般財源	18,100	22,902	22,048				
		再	翌年度への繰越額		0				
		掲	前年度からの繰越額		439,650	439,648			
			総人件費		①	879			
	総コスト		⑥	440,527					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	当事業により主要な設備機器を更新することで、老朽化対策のみならず、目標とする性能水準(CO2排出量削減等)を達成することができた。建設当初に比べ近年は、し尿等の搬入量の減少及び浄化槽汚泥の増加による搬入性状の変化があり、処理を行う設備機器の能力と不整合が生じていたが、当事業によりこれに対応することができ処理の安定性が向上した。	総合判定
			A 順調に進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	電力量使用量及び薬品使用量由来のCO2排出量の把握は、改良工事後の性能試験だけに留まらず今後も継続して実施し、常に省エネルギー化を意識した施設の運転管理に努める必要がある。また、今回の基幹的設備改良工事の対象以外の設備についても、今後、年次計画的に整備していく必要がある。
	【改善の方向性】	施設の運転管理委託業者との定期的な会議を実施することで、運転管理状況等の情報共有を行い、CO2排出量の監視に努めるとともに、施設設備の状況を的確に把握し適切な時期に計画的な整備を行うよう努める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 廃棄物対策室長 杉本 良則
--------------	---------	------------------------